

ライブ画像

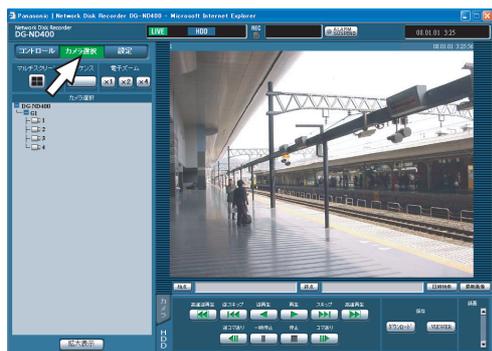
カメラのライブ画像をウェブブラウザに表示します。カメラのライブ画像はウェブブラウザに 1 画面または多画面で表示できます。

また、カメラの画像を自動的に切り換えて表示（シーケンス表示）することもできます。

1 画面表示

1 [カメラ選択] ボタンをクリックします。

[カメラ選択] ボックスにカメラのリストが表示されます。

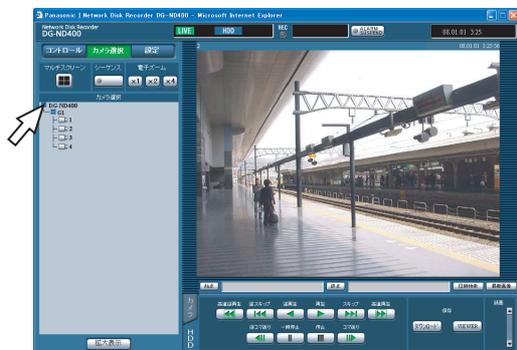


メモ:

- カメラ選択について
[DG-ND400] をクリックすると、本機に設定されているカメラのグループタイトルが表示されます。カメラのグループタイトルをクリックすると、そのグループに属するカメラのリストが表示されます。カメラタイトルをクリックすると、選択したカメラ ch の画像を表示します。
- 右クリックメニューからのカメラ選択について
カメラ画像上で右クリックし表示されたメニューからカメラを選択すると、カメラ画像を切り換えることができます。

2 [DG-ND400] をクリックし、カメラのグループタイトル、カメラタイトルの順に選択します。

選択したカメラ ch のライブ画像が表示されます。



ライブ画像

画像表示中の便利な機能

機能名	ボタン	操 作
電子ズーム*	  	<ul style="list-style-type: none"> ライブ画像を拡大表示します。 1 画面表示しているとき、[電子ズーム] ボックスのボタンをクリックすると画像を拡大表示します。 [x1] ボタン：電子ズーム 1 倍で表示します。 [x2] ボタン：電子ズーム 2 倍で表示します。 [x4] ボタン：電子ズーム 4 倍で表示します。 ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。
拡大表示	[拡大表示]	<ul style="list-style-type: none"> ライブ画像を拡大表示します。 カメラ画像上で右クリックし、表示されたメニューの [ZOOM IN] を選択すると、ライブ画像を拡大表示します。 拡大表示から通常表示に戻すには、画像上で右クリックし、表示されたメニューの [BACK] を選択します。 <hr/> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示している画像がMPEG-4画像の場合、拡大表示をすると数秒後の画像から拡大表示されることがあります。
最新画像へスキップ	[最新画像]	ライブ画像を表示中にクリックすると、表示しているカメラ ch の最新録画時刻の画像へスキップし、再生します。詳しくは、15 ページ をお読みください。

* 1 画面で表示しているときのみ操作できます。

カメラの操作

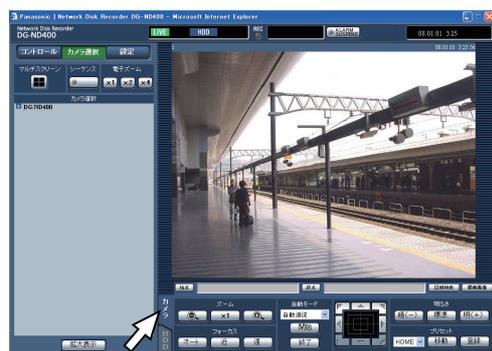
回転機能付きカメラのライブ画像を1画面で表示しているとき、以下のカメラ操作ができます。接続されたカメラの機種によっては、操作できない場合があります。

- パン・チルト : カメラ画像の水平・垂直位置を調節します。
- ズーム : カメラ画像を拡大／縮小表示します。
- フォーカス : カメラ画像の焦点を調節します。
- 明るさ : レンズの絞りを調節します。
- プリセット動作 : カメラの向きを指定するプリセットポジションに登録し、カメラの向きを移動します。
- 自動モード : カメラの自動モード機能を選択します。

パン・チルト操作

カメラ画像の水平・垂直位置を調節します。

1 [カメラ] タブをクリックします。



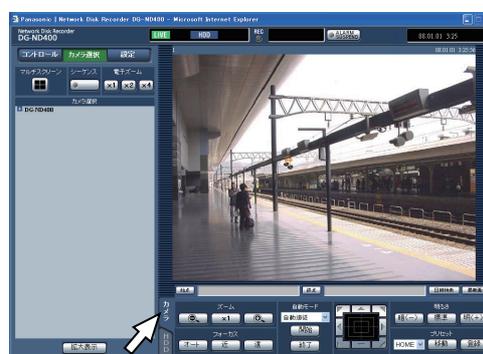
- コントロールボタン : クリックしてカメラの向きを調節します。
- コントロールパッド : クリックしてカメラの向きを調節します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの移動量が多くなります。
- 画面の画像表示部 : カメラ画像内で画角の中心とした位置をクリックします。クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。

ズーム・フォーカス・明るさ操作

カメラ画像のズーム・フォーカス・明るさを調節します。

- ズーム操作 : カメラ画像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの種類によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- フォーカス操作 : カメラ画像の焦点を調節します。自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。
- 明るさ操作 : レンズの絞りを調節します。レンズの絞りをリセットすることもできます。

1 [カメラ] タブをクリックします。



- ズーム操作
 - [ズーム] ボックスにある [-] ボタンまたは [+] ボタンをクリックして、ズームを調節します。
 - [x1] ボタンをクリックしてズームをリセットします。
- フォーカス操作
 - [フォーカス] ボックスにある [近] ボタンまたは [遠] ボタンを押して、カメラ画像の焦点を調節します。
 - [オート] ボタンをクリックすると、焦点を自動調節できます。
- 明るさ操作
 - [明るさ] ボックスにある [暗 (-)] ボタンまたは [明 (+)] ボタンを押して、絞りを調節します。
 - [標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定を標準に戻します。

メモ:

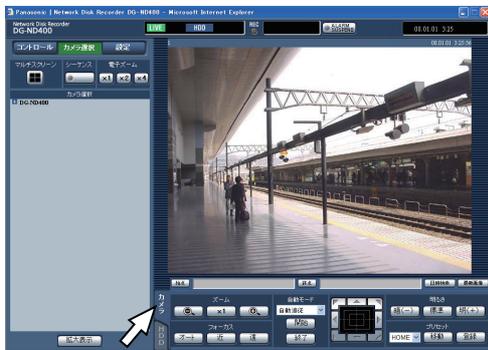
- マウスのホイールボタンを回転させて、ズームを調節することもできます。

ライブ画像

カメラの向きをプリセットポジションに登録する

現在のカメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。プリセットポジションの登録は、プリセットポジションの機能に対応しているカメラで使用できます。

1 [カメラ] タブをクリックします。



2 カメラのパン/チルト操作を行い、カメラを登録したい向きへ移動します。

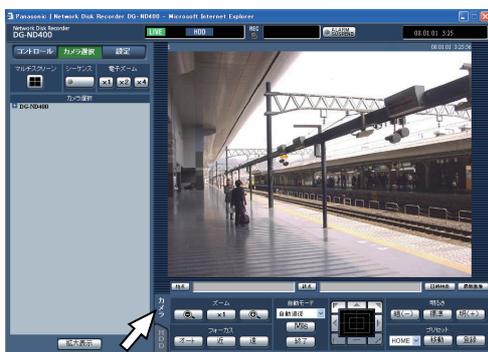
3 [プリセット] ボックスの [V] ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号 (1~256) を選択します。Homeへは登録できません。

4 [登録] ボタンをクリックします。 選択したプリセット番号に登録されます。

カメラの向きをプリセットポジションへ移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

1 [カメラ] タブをクリックします。



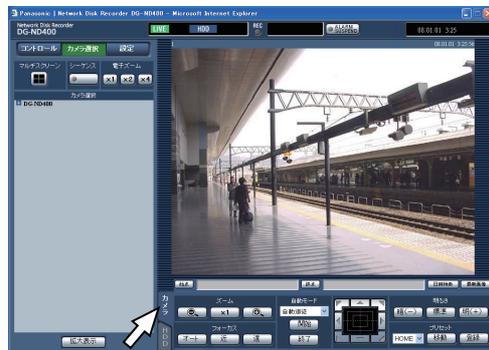
2 [プリセット] ボックスの [V] ボタンをクリックして、移動したいプリセット番号 (Home、1~256) を選択します。

3 [移動] ボタンをクリックします。 選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションへカメラの向きが移動します。

カメラの自動モード機能 (オートパンなど)

カメラで設定されたオート機能を動作させます。

1 [カメラ] タブをクリックします。



2 [自動モード] ボックスにある [V] ボタンをクリックして、開始したい自動モード (自動追従、オートパン、プリセットシーケンス、ソート、パトロール) を選択します。

3 [自動モード] ボックスにある [開始] ボタンをクリックして、自動モード機能を開始します。 自動モード機能を終了するときは [終了] ボタンをクリックします。

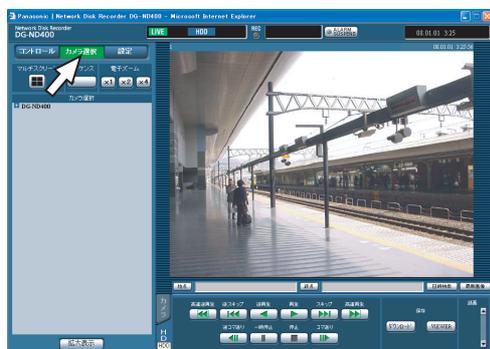
メモ:

- カメラの自動モード機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

4 画表示 (マルチスクリーン)

カメラの画像を 4 画面に分割して表示します。

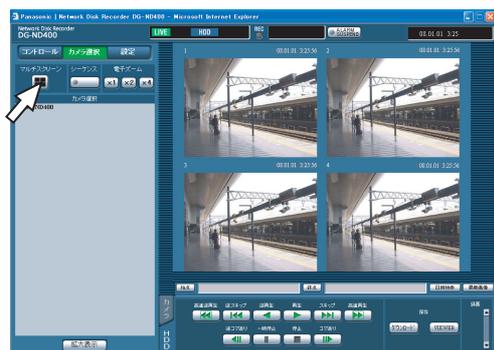
1 【カメラ選択】 ボタンをクリックします。



2 【マルチスクリーン】 ボタンをクリックします。

カメラ画像が 4 画面で表示されます。

- 【マルチスクリーン】 ボタンをクリックするたびに、あらかじめ設定したカメラの組み合わせに従って、カメラ画像を切り換えて 4 画面表示します (取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) 参照)。



3 【カメラ選択】 ボックスのカメラタイトル、または画像に表示されたカメラタイトルをクリックします。

1 画面表示に戻ります。

メモ:

- 右クリックメニューからの多画面表示について
カメラ画像上で右クリックし、表示されたメニューから「多画 [1-4]」を選択すると、多画面表示に切り換えることができます。
- 右クリックメニューからの拡大表示について
4 画面表示で右クリックし表示されたメニューから「ZOOM IN」を選択すると、4 画面で拡大表示します。
- ライブ画像を表示しているときに【最新画像】 ボタンをクリックすると、表示しているカメラ ch の最新録画時刻の画像 (初期設定では最新の 30 秒前) から再生を開始します。
- 多画面で表示しているときは、左上のカメラ ch の音声がかかります。
- 多画面で表示中に VMD サーチ (25 ページ) の操作をすると、左上のカメラ ch の画像が検索の対象となります。

切り換え表示 (シーケンス)

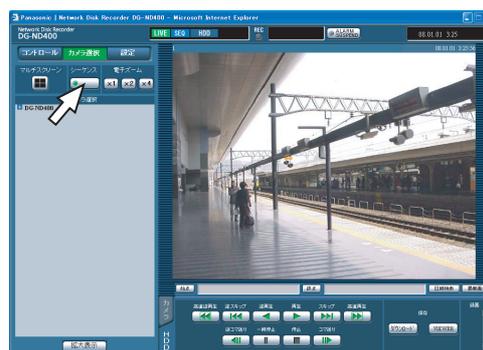
カメラの画像を自動的に切り換えて表示します。画像表示中の便利な機能については、28 ページ をお読みください。

1 【カメラ選択】 ボタンをクリックします。

2 【シーケンス】 ボタンをクリックします。

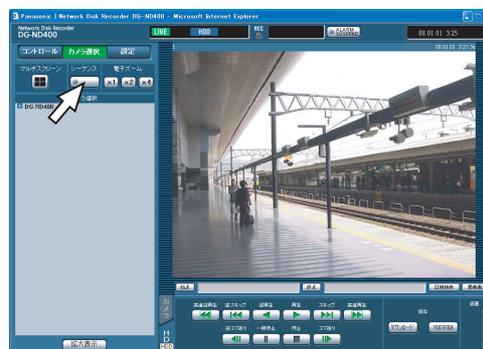
あらかじめ設定したシーケンス動作の設定に従って、ライブ画像がシーケンス表示されます。

- 【シーケンス】 ボタンのランプが点灯 (緑色) し、ステータス表示部に「SEQ」が表示されます。



3 【シーケンス】 ボタンをクリックします。

【シーケンス】 ボタンのランプが消灯し、シーケンス動作が停止します。



メモ:

- シーケンス動作中にVMDサーチ(25ページ)、1画面表示(27ページ)または、4画面表示(31ページ)の操作をすると、シーケンス動作を停止します。
 - 画像が表示できないシーケンスステップがある場合は、次のステップの画像を表示します(MPEG-4 画像の場合もスキップされます)。
 - シーケンス表示をしているときに[最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラ ch の最新録画時刻の画像(初期設定では最新の30秒前)から再生を開始します。
 - 右クリックメニューからのシーケンス動作開始について
カメラ画像上で右クリックし表示されたメニューから[SEQ]を選択すると、シーケンス動作を開始できます。また、シーケンス動作中に[SEQ]を選択すると、シーケンス動作を停止します。
 - 右クリックメニューからの拡大表示について
シーケンス動作中にカメラ画像上で右クリックし表示されたメニューから[ZOOM IN]を選択すると、シーケンス動作は停止し拡大表示します。
 - シーケンス動作中は、音声は停止します。
-

イベント機能

本機はイベントが発生すると設定に従いアラーム動作を開始します。イベント機能には、端子アラーム・コマンドアラーム・サイトアラームがあります。イベント機能の設定については、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) をお読みください。

イベント機能

イベントについて

本機が特別な動作を行うきっかけとなる事象をイベントといいます。

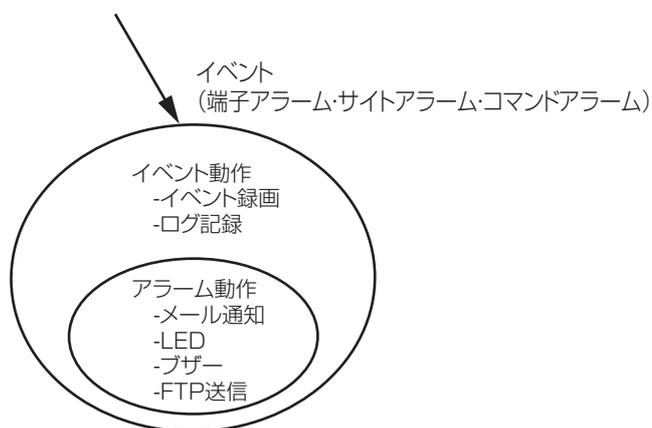
イベントには、端子アラーム・サイトアラーム・コマンドアラームがあります。

例えば、カメラから本機にサイトアラームを送信した場合、本機はサイトアラームを受信し、イベント発生となります。

イベント動作について

イベント発生時に行う動作をイベント動作といいます。

イベント動作は、設定により、録画・ログ記録・外部に通知を伴う動作 (メール通知・LED・ブザー・FTP 送信等) があります。ここで、外部に通知を伴う動作をアラーム動作といいます。



イベント動作・アラーム動作イメージ図

本機は、以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を開始します。

- 端子アラーム : ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される。
- コマンドアラーム : ネットワークを経由して PC からコマンドアラームを受信する。
- サイトアラーム : ネットワークカメラから独自アラームを受信する。

イベント動作には以下のものがあります。

- 録画を開始する
録画時間や録画レートなど、設定メニューの設定に従って録画します (取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) 参照)。イベントが発生した時間よりも前のカメラ画像を、発生したイベントと関連づけて録画できます (イベント・プレ録画)。
- アラームメッセージを表示する
イベント発生を通知するポップアップ画面を表示します。
- アラームランプを点滅する
本機前面のアラームランプが点滅します。
- ブザーを鳴らす
設定メニューで設定した時間でブザーが鳴ります (取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) 参照)。
- カメラの向きをプリセットポジションに移動する
あらかじめ登録したプリセットポジションへカメラの向きを移動します。プリセットポジションの登録のしかたについては、「カメラの操作 (29 ページ)」をお読みください。
- イベント発生をメールで通知する
イベントが発生すると、イベントの発生と日時を知らせる電子メール (アラームメール) を、登録したメールアドレスに送信して通知します。その際、JPEG 画像を 1 枚添付できます。アラームメールの通知先は 4 件まで登録できます。設定については、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) をお読みください。
- 本機後面のアラーム/コントロール端子から信号を送出する (アラーム出力)
イベントが発生すると、後面のアラーム/コントロール端子から信号を出力し、警報を鳴らします。信号の出力時間は設定メニューで設定します (取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) 参照)。
- イベントログへ記録する
イベントが発生すると、イベントが発生した時間とイベントの種類をイベントログに記録します。
- イベント発生時、録画画像を FTP サーバーへ送信する
イベントが発生すると、イベント録画を開始した時刻から設定した時間までの画像を FTP サーバーへ自動的に送信します。設定については、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) をお読みください。
- 独自のプロトコル設定に従って PC にアラームを通知する
イベントやエラー発生時、[独自アラーム] の設定に従って、発生したイベントやエラー情報を PC に自動的に通知します。発生したイベントやエラー情報を受信し内容を表示する場合は、通知先の PC に専用のソフトウェアをインストールしてください。
専用ソフトウェアについては、本機付属の CD-ROM 内「readme.txt」をお読みください。

イベント発生時の動作

イベントが発生し、本機がイベントを認識すると、設定に従ってアラーム動作を開始します。アラーム動作については、33 ページをお読みください。

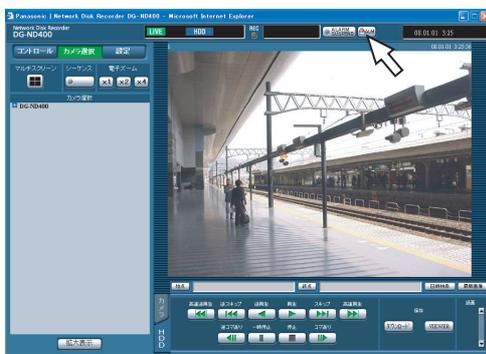
メモ:

- 録画するカメラ画像が MPEG-4 画像の場合、イベント発生の数秒後の画像から録画され、録画時間が短くなることがあります。

アラーム動作の解除

イベントが発生すると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。また、設定したアラーム動作を手動で解除できます。

- 1 イベントが発生すると、ステータス表示部に「アラーム [ALM]」ボタンが表示されます。



- 2 「アラーム [ALM]」ボタンをクリックします。
アラーム動作が解除されます。

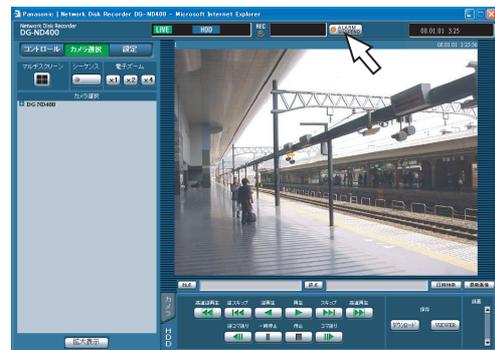
メモ:

- 緊急録画中に「アラーム [ALM]」ボタンをクリックしても、緊急録画は停止されません。ただし、緊急録画の録画時間設定が [Continue] に設定されている場合は、録画を停止します。

アラーム動作の抑止

イベントが発生しても、アラーム動作を行わないように設定します。設定作業中など、一定期間アラーム動作を行わないようにしたいときに設定します。ただし、アラーム動作を抑止しても、録画とイベントログへの記録、プリセット動作、「アラーム [ALM]」ボタンの表示は行われます。

- 1 操作画面を表示します。



- 2 「アラーム抑止 [ALARM SUSPEND]」ボタンをクリックします。

本機前面の「アラーム抑止 [ALARM SUSPEND]」ランプが点灯し、アラーム動作を抑止します

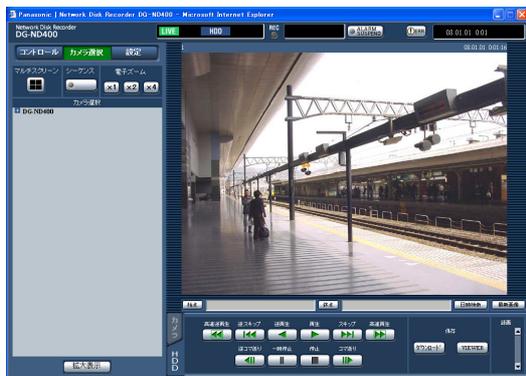
- 3 「アラーム抑止 [ALARM SUSPEND]」ボタンをクリックします。

本機前面の「アラーム抑止 [ALARM SUSPEND]」ランプが消灯し、アラーム抑止を解除します。

エラー動作を解除する

エラーが発生すると、本機はエラー動作をします。エラー動作の詳細については、58 ページをお読みください。エラー動作を手動で解除したいときは、以下の操作を行います。

- 1 エラーが発生すると、ステータス表示部に [ERR] ボタンが表示されます。



- 2 [ERR] ボタンをクリックします。
エラー動作が解除されます。

メモ:

- エラーの種類によっては、[ERR] ボタンをクリックしても本機前面のエラーランプは消灯しません。